

今月の推薦句

山田真砂年選

初場所や鬚ゆがませて勝ち名乗り  
寒明けや並びし本の読み切れず  
色もたぬ影に色あり鏡餅  
霜晴や補聴器に音とり戻し  
安房の風前に後に麦を踏む  
調律師音を探して春隣  
走るには重たき靴や霜柱  
円位忌や師の面影のふかぶかと  
速報のグラフ尖れる余寒なほ  
数の子をわしわしと囁む白寿かな  
ねんねこや中でのけぞる好奇心  
轡りや面輪あやしき野の仏  
さまざまの木型に春日さす菓子舗  
着ぶくれて顔の小さくなりにけり  
鋤を取り糸を通すも針供養  
調理場の裏の生簀や雪解風  
鞆薬塗りて始むる写経かな  
冬の蝶翅を広げしまま石に  
ハイハイのゴール黒猫春隣  
飯田線窓から仄か梅便り  
雪解川河口の青に染まりけり

